

しもつけし
ぎかい
だより

令和3年5月15日発行

令和3年 第1回定例会～3月議会～
—— 今号のポイントは？ ——

- 令和3年度各会計当初予算 ……P 2
「下野市 新たなステージ創生予算」
議会だより編集委員が選ぶ注目事業
- 一般質問
11名の議員が質問しました …… P 9
- 議会だよりモニター会議を開催しました
………… P16



メディアづくりワークショップに
議会だより編集委員が参加 (3月21日)

しもつけ市議会だよりは議会ホームページでもご覧いただけます
ホームページ <http://www.city.shimotsuke.lg.jp>
下野市 市議会



令和3年第1回 定例会

2月24日(水)～3月18日(木)

令和3年第1回定例会は、2月24日から3月18日までの23日間の会期で開催されました。

市長提案（追加議案含む）により、同意6件、令和2年度補正予算7件、令和3年度当初予算8件、条例の制定・一部改正等19件の計40件が提出されました。

一般質問は会派代表質問3人、個人質問9人が行い、市の対応や考え方を問いました。

令和3年度各会計予算を議決

税金の使い方が決まりました

予算総額は、過去最大の286億1,000万円

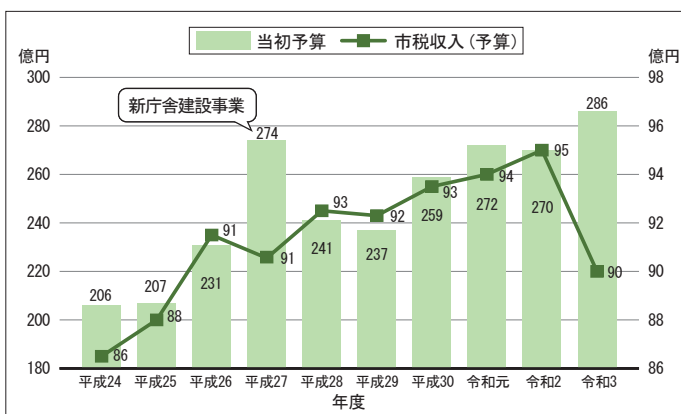
【一般会計】

令和3年度一般会計当初予算は、令和3年度から始まる「第二次下野市総合計画 後期基本計画」を軸とし、コロナ禍における「新たな生活様式」への対応や財政健全化計画の遵守による健全財政を堅持すべく「下野市 新たなステージ創生予算」として編成されました。

また、SDGs（エス・ディー・ジーズ 持続可能な開発目標）の実現を意識した取り組みを検討し、新たな視点を踏まえた施策・事業を推進する予算です。

歳入では、コロナ禍の影響による所得の減少や法人の業績不振を踏まえ、市税全体（市民税、固定資産税など）で、前年度比4億9,870万円、5.2%の減を見込みました。

■10年間の当初予算額と市税収入予算額の推移



■款別歳出予算前年比較

| | 令和3年度 | 令和2年度 | 前年比 |
|--------|--------------|--------------|--------------|
| 議会費 | 1億9,512万6千円 | 1億9,575万5千円 | ▲62万9千円 |
| 総務費 | 25億5,294万6千円 | 24億8,784万3千円 | 6,510万3千円 |
| 民生費 | 92億2,524万3千円 | 92億7,043万5千円 | ▲4,519万2千円 |
| 衛生費 | 16億9,879万円 | 16億4,431万円 | 5,448万円 |
| 労働費 | 211万6千円 | 219万4千円 | ▲7万8千円 |
| 農林水産業費 | 5億8,560万9千円 | 8億1,571万6千円 | ▲2億3,010万7千円 |
| 商工費 | 10億8,831万4千円 | 9億1,038万2千円 | 1億7,793万2千円 |
| 土木費 | 30億5,039万7千円 | 29億9,921万7千円 | 5,118万円 |
| 消防費 | 11億2,177万7千円 | 10億6,539万2千円 | 3,678万5千円 |
| 教育費 | 59億3,921万5千円 | 46億9,938万5千円 | 12億3,983万円 |
| 公債費 | 31億4,006万5千円 | 28億8,936万9千円 | 2億5,069万6千円 |
| その他 | 3,000万2千円 | 3,000万2千円 | 増減なし |
| 歳出合計 | 286億1,000万円 | 270億1,000万円 | 16億円 |

歳出において商工費と教育費が増額となった主な要因は、令和2年度から取り組んでいる「しもつけ産業団地整備推進事業（西坪山工業団地東地区）」や本市で初めての義務教育学校となる「南河内小中学校（令和4年度開校）」建設工事の推進によるものです。

予算総額は286億1,000万円で、令和2年度予算額から16億円、5.9%増となり、前年を大きく上回る積極型予算となりました。

■令和3年度各会計予算

(単位：千円、%)

| 会計名 | 予算額 | 前年度との比較 | | |
|------|----------------|--------------|-------------|------|
| | | 増減 | 比率(%) | |
| 一般会計 | 286億1,000万円 | 16億円 | 5.9 | |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 52億3,930万3千円 | ▲5,503万5千円 | ▲1.0 |
| | 後期高齢者医療 | 6億8,729万円 | 1,356万9千円 | 2.0 |
| | 介護保険 | 46億3,116万4千円 | 2,435万1千円 | 0.5 |
| | 石橋駅周辺土地地区画整理事業 | 894万1千円 | ▲70万4千円 | ▲7.3 |
| | 仁良川地区土地地区画整理事業 | 4億7,195万9千円 | 1,775万2千円 | 3.9 |
| 企業会計 | 水道事業 | 18億2,253万円 | 1億9,319万1千円 | 11.9 |
| | 下水道事業 | 34億9,100万3千円 | 1億1,424万8千円 | 3.4 |



議会だより
編集委員が選ぶ

注目事業

当初予算から気になる事業をピックアップしました。

高齢者サポートカー等 購入費補助金

新規

100万円

令和3年度限りの予算ですが、サポートカー新車購入の場合2万円、後付け安全装置の場合1万円の補助金を交付します。
※国の補助金と併用できます。

自治医大駅周辺整備事業

2億7,830万円

自治医大駅東口に雨よけのための屋根（シェルター）がつけます。駅から濡れずにバスやタクシーに乗り降りすることができます。また植栽を減らして、駐車できるスペースを広げます。市道7002号線（グリーンモール）の整備も完了します。



自治医大駅東口整備イメージ

南河内テニスコート拡張整備事業

2億167万6,000円

南河内テニスコートを2面から6面に拡張します。利用者が多く稼働率も高いテニスコートにおいて、一般利用者の利便性や利用促進を図り、南河内小中学校テニス部の活動拠点を確保します。



南河内テニスコート

デマンド交通「おでかけ号」 運行事業

3,419万2,000円

誰もが快適に移動できる交通環境の整備を目指し、乗り合いタクシー「おでかけ号」を運行します。令和3年度からは、AI（人工知能）配車システムを導入し、従来の電話予約に加えて、パソコンやスマートフォンでも予約が可能となります。また、これまで3つに分かれていた運行エリアを一本化し、乗り換えなしで目的地に行くことができます。

コンパクトシティ形成に 係る可能性調査

新規

1,315万6,000円

平成31年に策定された「立地適正化計画」では、市の都市機能をJR3駅の市街化区域に設定しています。この調査では、具体的なエリアの設定、事業費の算出、整備手法、課題の解決などを業者に委託し、担当職員とともに検証します。

義務教育学校整備事業

30億2,523万円

9年間の一貫した継続指導を行う「小中一貫教育」を推進する上で、南河内中学校区の令和4年4月の開校に向けて、施設一体型の義務教育学校の整備を令和2、3年度に継続して行う事業です。今回の事業費に含まれるのは、校舎及び屋内運動場、給食室、外構・グラウンド整備、工事施工監理業務、引越・情報機器等移設業務、備品等です。



建設が進む南河内小中学校



| 付議事件 | 内 容 |
|------------------|--|
| 教育委員会教育長の任命 | 任期満了に伴い、石崎 雅也 氏 (小山市花垣町) の任命に同意。 |
| 教育委員会委員の任命 | 任期満了に伴い、石嶋 和夫 氏 (下古山) の任命 (再任) に同意。 |
| 公平委員会委員の選任 | 任期満了に伴い、五月女 智史 氏 (柴) の選任に同意。 |
| 固定資産評価審査委員会委員の選任 | 任期満了に伴い、菅井 貞雄 氏 (小金井四丁目)、萩原 仁 氏 (石橋)、上野 榮一 氏 (田中) の3氏の選任 (再任) に同意。 |

令和2年度各会計補正予算を議決

一般会計補正予算 (第8号)

各種事業費の確定に伴う減額を基金へ積み立て

歳入では、各事業費の確定に伴う国県支出金の減額、国の第三次補正予算に伴う「社会資本整備総合交付金」、県補助金の「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」等の追加がありました。

歳出では、各種事業費の確定に伴う減額分を各種基金に積み立てました (財政調整基金 2億5千万円、減債基金 2億5千万円、公共施設整備基金 2億4千万円)。また、「新型コロナウイルス感染症対策資金借入金利子補給基金」等を創設しました。

一般会計補正予算 (第9号)

さらなる新型コロナ対策予算を計上

歳入では、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」における第三次交付限度額決定による年度内交付分と、新型コロナウイルス感染に関する一定の高齢者等への検査助成事業に対する「疾病予防対策事業費等補助金」を追加しました。

歳出では、ワクチン接種にご協力いただく医療機関への交付金、公共施設に設置する空気清浄機や体表面温度計測機の購入費、小・中学校の水道蛇口をハンドル式からレバー式に交換するための工事費等を追加しました。

令和2年度各会計補正予算

| 会 計 名 | | 補 正 額 | 補正後の予算額 |
|-------|---------------------|--------------|---------------|
| 一般会計 | 第8号 | ▲1億5,202万2千円 | 349億7,630万 円 |
| | 第9号 | 2,736万 円 | 347億5,135万9千円 |
| 特別会計 | 国民健康保険 (第4号) | 9万9千円 | 54億2,910万2千円 |
| | 後期高齢者医療 (第3号) | — | 6億8,233万3千円 |
| | 仁良川地区土地区画整理事業 (第3号) | 560万 円 | 6億6,994万6千円 |

※後期高齢者医療 (第3号) は予算額の増減がないため「—」で表示されます。

令和2年度企業会計補正予算

| 区 分 | | 補 正 額 | 補正後の予算額 |
|-------------|-------|-------|------------|
| 水道事業 (第2号) | 資本的収支 | 収 入 | ▲1,615万2千円 |
| | | 支 出 | ▲5,129万5千円 |
| 下水道事業 (第1号) | 資本的収支 | 収 入 | 5,400万 円 |
| | | 支 出 | 5,714万4千円 |

総括質疑

市長から提案された議案について、疑問点を問います。

公共施設マネジメント推進事業 (3年度一般会計予算)

Q 公民連携推進事業のオープンカフェ社会実験について、実績と次年度の取り組みを伺う。

A 2か月間石橋駅西口の商店4店舗の協力を得て実施したが、月3組程度の利用状況だったため、次年度は地元店主の方々の意向を伺いながら事業内容の検討を行う。

商工業振興事業 (2年度一般会計補正予算 (第8号))

Q 小規模事業者等事業継続緊急支援金の実績と減額の原因を伺う。

A 事業者数を基に1,900件を対象としたが、申請者は193件であった。多くの事業者は国の持続化給付金を受給できたものとする。

路上喫煙の防止に関する条例の制定

喫煙マナーの向上を図り、路上喫煙禁止区域の指定などについて定めています。

いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定

いじめ問題への対策として、いじめ問題対策連絡協議会（教職員、教育関係団体代表者など15人以内）、いじめ問題専門委員会（学識経験者など4人以内）、いじめ問題再調査委員会（いじめ問題専門委員以外の学識経験者など5人以内）などを定めています。

にぎわい広場条例の制定

石橋庁舎跡地のにぎわい広場について、適性な維持管理を行うため禁止事項や使用料などについて定めています。

介護保険条例の一部改正

介護保険料額が変更されます。変更例：第五段階（基準額）の保険料（年額）66,600円 → 67,200円

敬老祝金条例の一部改正

現在、支給対象年齢は75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳以上ですが、費用の増大が見込まれることから、80歳、90歳に変更します。なお、100歳祝金は変更ありません。

陳情第3号 国に対して「妊産婦医療費助成制度」を創設するよう意見書提出を求める陳情

陳情の趣旨

令和2年第4回定例会において、閉会中の継続審査となっていた陳情第3号「国に対して「妊産婦医療費助成制度」を創設するよう意見書提出を求める陳情」について、3月11日に教育福祉常任委員会を開催し、審査を行いました。本陳情の趣旨は、疾患や受診科目による制限のない妊産婦に対する医療費助成制度を国の制度として早期に実現するよう国へ意見書提出を要望する、というものです。

教育福祉常任委員会での意見

委員から、「陳情の趣旨に賛成であり、国に強く求めたい」、「医療費を心配することなく、妊娠期を安心して過ごしていただくために賛成する」などの陳情に賛成する意見が出されました。一方、「制度自体には賛成だが、妊産婦健診への補助を更に手厚くする方が平等な給付だと思う」、「国では不妊治療に公的医療保険を適用する方向性が示されており、財政的に厳しい中で国の制度でやるべきと思えない。全国的にも栃木県が先進的に進めた制度であり、県としてアピールすべきである」などの陳情に反対する意見が出されました。

委員会表決の結果

可否同数のため、委員長の決するところにより「不採択」

本会議表決の結果

賛成少数により「不採択」

議員発議

議員が条例の制定や改正などについて、議案を提出することです。

【発議第2号】「選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書（案）」の提出

賛成少数で

否決

【提出者】中村節子 【賛成者】高橋芳市、磯辺香代、村尾光子、五戸豊弘

昨年、12月25日に第5次男女共同参画基本計画が閣議決定されました。焦点になった選択的夫婦別姓については、第4次計画よりも後退してしまいました。2018年の世論調査によれば、賛成と答えたのは66.9%で反対の29.3%を大きく上回りました。世論が高まりを見せています。国会と政府に対し、選択的夫婦別姓の法制化を強く要望するものです。

【意見書の提出】

議会の議決に基づき、議会としての意見や希望を意見書として内閣総理大臣、国会、関係行政庁などに提出できます。

常任委員会 審査報告

定例会で委員会付託された議案などについて、各常任委員会の審査内容をお知らせします。

総務常任委員会

◎石田 陽一 ○村尾 光子
高橋 芳市 大島 昌弘 貝木 幸男 伊藤 陽一

議案第2号 令和2年度一般会計補正予算 (第8号)

総務費国庫補助金

Q 特別定額給付金給付補助金(1人10万円)で給付を受けていない方の割合を伺う。

A 未申請は66世帯で77人。申請をしたが給付を辞退したのが8世帯で10人。一部辞退が4人であった。

非常備消防事務費

Q 繰り越しとなった委託料は、地域防災計画だと思うが、ハザードマップも含まれるのか。

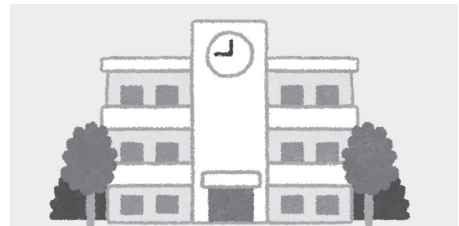
A ハザードマップは含まない。県の河川浸水想定区域見直しの公開が3月末であり、それが明確になってから作成する。ハザードマップは、令和3年度の予算で出水期前の7月末までに作成していきたい。

議案第8号 令和3年度一般会計予算

公共施設マネジメント推進事業

Q 南河内小中学校が令和4年開校となるが、閉校する3小学校跡地についてどのように利活用の検討を進めるのか。

A 「学校跡地利活用の検討にあたっての基本的な考え方」に基づき庁内の公共施設マネジメント推進委員会で、令和3年度から公共の利用、地域利用、民間利用の順で利活用を検討する。



経済建設常任委員会

◎岡本 鉄男 ○中村 節子
秋山 幸男 奥田 勉 相澤 康男 石川 信夫

議案第8号 令和3年度一般会計予算

担い手総合対策支援事業

Q ユニバーサル農業支援事業の実績を伺う。

A 市内10カ所ほどで、障がい者の方が農家に行って作業を行っているが、現在まで支援事業の活用実績はない。使いやすさの検討とともに、農協や福祉施設などで事業の更なる周知に努めていく。

議案第18号 新型コロナウイルス感染症対策資金 借入金利子補給基金条例の制定

Q 借入れをしている件数と総額、またその返済が始まっているのか伺う。

A 3月2日時点で152件、総額10億2,930万円であり、1年間の据え置き期間を設け返済は始まっている。

道路構造物長寿命化事業

Q JR小金井駅東西自由通路定期点検について、修繕後間もないのに定期点検を行う理由を伺う。

A 道路法に基づき実施する5年に一度の法定点検であり、修繕したばかりでも点検を行うように県からの指導があった。

議案第13号 令和3年度仁良川地区 土地区画整理事業特別会計予算

Q 事業期間内で完了する見込みか伺う。

A 事業期間は令和5年度末までであるが、現段階で事業費も残っており、水道や下水道の工事との調整もあるため、期間内での完了は難しいと考えている。早期完了を目指し努力したい。

教育福祉常任委員会

◎松本 賢一 ○磯辺 香代
小谷野 晴夫 五戸 豊弘 坂村 哲也

議案第2号 令和2年度一般会計補正予算 (第8号)

中学校改修事業

Q 石橋中学校外構工事の減額理由を伺う。

A 災害時の浸水を防ぐための止水板を、常設ではなく着脱可能なものにしたことによる。大雨が予想される際は教職員が設置する。

議案第24号 敬老祝金条例の一部改正

Q 改正の理由と、どのくらいの予算の削減になるか伺う。

A 限られた予算内で継続的に事業が実施できるよう改正を行うものであり、改正後は2分の1程度に抑えられる見込みである。

議案第8号 令和3年度一般会計予算

認定こども園整備事業

Q 薬師寺保育園は施設整備を行い、認定こども園になるということか。

A 薬師寺保育園は平成31年4月に民営化した。今後移転整備を行い、認定こども園へ施設区分の変更が予定されている。

新型コロナウイルス対策事業

Q 新型コロナウイルスワクチンの医療従事者と65歳以上の高齢者の接種予定を伺う。

A 市内医療従事者のワクチンは3月下旬に届く予定であり、高齢者への接種券発送は4月下旬を予定している。



現地調査を実施しました

総務常任委員会



旧国分寺西小学校利活用事業

経済建設常任委員会



薬師寺・柴ほ場整備事業

教育福祉常任委員会



下野薬師寺歴史館



市内公共交通運行事業
(石橋タクシー)



道の駅しもつけ駐車場拡張整備



南河内小中学校建設工事



市民活動センター整備事業



南河内第2配水場
機械電気設備更新事業



南河内小中学校学童保育室整備

第1回定例会の審議結果

議案などに対する各議員の賛否の状況です。

議員の賛否が分かれたもの

| 議案等 番号 | 付議事件 | 結果 | 坂村 哲也 | 伊藤 陽一 | 五戸 豊弘 | 貝木 幸男 | 石川 信夫 | 相澤 康男 | 奥田 勉 | 中村 節子 | 大島 昌弘 | 高橋 芳市 | 石田 陽一 | 小谷野 晴夫 | 秋山 幸男 | 磯辺 香代 | 松本 賢一 | 岡本 鉄男 | 村尾 光子 |
|-----------|--|-----|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 議案8号 | 令和3年度下野市一般会計予算 | 可決 | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案9号 | 令和3年度下野市国民健康保険特別会計予算 | 可決 | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案10号 | 令和3年度下野市後期高齢者医療特別会計予算 | 可決 | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案11号 | 令和3年度下野市介護保険特別会計予算 | 可決 | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案12号 | 令和3年度小山栃木都市計画事業石橋駅周辺土地区画 整理事業特別会計予算 | 可決 | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案13号 | 令和3年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画 整理事業特別会計予算 | 可決 | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案14号 | 令和3年度下野市水道事業会計予算 | 可決 | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案15号 | 令和3年度下野市下水道事業会計予算 | 可決 | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案23号 | 下野市介護保険条例の一部改正 | 可決 | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 陳情3号 | 国に対して「妊産婦医療費助成制度」を創設するよう意見書提出を求める陳情書 | 不採択 | ● | ● | ○ | ● | ● | ● | ● | ○ | ● | ○ | ● | - | ● | ○ | ● | ● | ○ |
| [追]発議2号 | 「選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書(案)」の提出 | 否決 | ● | ● | ○ | ● | ● | ● | ● | ○ | ● | ○ | ● | - | ● | ○ | ● | ● | ○ |

[追]…追加議案

○…賛成 ●…反対

(議長は表決に加わらない)

全会一致で同意・可決されたもの

| | | | |
|--------|---|----------|-------------------------------------|
| 同意1号 | 教育委員会教育長の任命 | 議案21号 | 下野市いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定 |
| 同意2号 | 教育委員会委員の任命 | 議案22号 | 下野市国民健康保険税条例の一部改正 |
| 同意3号 | 公平委員会委員の選任 | 議案24号 | 下野市敬老祝金条例の一部改正 |
| 同意4～6号 | 固定資産評価審査委員会委員の選任 | 議案25号 | 下野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 |
| 議案2号 | 令和2年度下野市一般会計補正予算(第8号) | 議案26号 | 下野市手数料条例の一部改正 |
| 議案3号 | 令和2年度下野市国民健康保険特別会計補正予算(第4号) | 議案27号 | 下野市特別工業地区建築条例の一部改正 |
| 議案4号 | 令和2年度下野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号) | 議案28号 | 下野市水道事業給水条例の一部改正 |
| 議案5号 | 令和2年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号) | 議案29号 | 下野市生涯学習情報センター条例の一部改正 |
| 議案6号 | 令和2年度下野市水道事業会計補正予算(第2号) | 議案30号 | 下野市都市公園条例の一部改正 |
| 議案7号 | 令和2年度下野市下水道事業会計補正予算(第1号) | 議案31号 | 第二次下野市総合計画後期基本計画の策定 |
| 議案16号 | 下野市消費生活条例の制定 | 議案32号 | 市道路線の認定 |
| 議案17号 | 下野市路上喫煙の防止に関する条例の制定 | 議案33号 | 市道路線の廃止 |
| 議案18号 | 下野市新型コロナウイルス感染症対策資金借入金利子補給基金条例の制定 | 議案34号 | 財産の無償貸付 |
| 議案19号 | 下野市にぎわい広場条例の制定 | [追]議案35号 | 令和2年度下野市一般会計補正予算(第9号) |
| 議案20号 | 下野市都市計画法に基づく開発行為の許可の基準に関する条例の制定 | [追]発議1号 | 下野市議会会議規則の一部改正 |

[追]…追加議案

市政を問う 一般質問

一般質問は、新型コロナウイルス感染症対策のため、会派代表質問30分、個人質問は各会派から2名までとし、質問時間は会派に所属する議員は1人30分、会派に所属しない議員は1人20分までとして行いました。3名の会派代表質問、8名の個人質問の内容を要約して掲載します。

今回の質問者は

【会派代表質問】

- | | | | |
|-------------|-------|----|-----------|
| 1. 一心会 | 岡本 鉄男 | 議員 |P 9 |
| 2. 清明会 | 大島 昌弘 | 議員 |P 10 |
| 3. 下野市民派クラブ | 村尾 光子 | 議員 |P 10 |

【個人質問】

- | | | | | | | | | |
|----------|----|-----------|----------|----|-----------|-----------|----|-----------|
| 4. 中村 節子 | 議員 |P 11 | 6. 磯辺 香代 | 議員 |P 12 | 9. 貝木 幸男 | 議員 |P 13 |
| 5. 伊藤 陽一 | 議員 |P 11 | 7. 石川 信夫 | 議員 |P 12 | 10. 相澤 康男 | 議員 |P 14 |
| | | | 8. 五戸 豊弘 | 議員 |P 13 | 11. 坂村 哲也 | 議員 |P 14 |

※一般質問は議会ホームページで動画を公開しています。



新型コロナウイルスワクチンの接種体制について伺う

一心会 岡本 鉄男 議員



市長 変化する国の方針などに迅速に対応し、安心して接種できるような環境の整備に努める

Q ワクチンの接種順位及び不特定多数と交わる機会の多い介護職員や学校関係者等へのワクチン接種についての見解を伺う。

A 市長 国の示した接種順位は、最初に医療従事者、次に65歳以上の高齢者、その次に高齢者以外で基礎疾患を有する方及び高齢者施設等の従事者とされる。すでに国では2月から医療従事者へ

の先行接種が始まっている。接種順位は、市が独自に変更できない。

Q 速やかに接種が行われるには、接種会場や病院等の協力が必要である。ワクチンのロスが起こることなく接種するための市の方針を伺う。

A 市長 ファイザー社製のワクチンについては、安全に運搬することで、医療機関、かかりつけ医や接種会場での小分けでの接種も可能となった。医療機関と連携し、予約の際に無駄が生じないように調整し、対応していく。

Q 市民が安心してワクチンの接種ができるよう、その有効性、安全性、接種の概要などをどのように周知していくのか伺う。

A 市長 国が公表した正確な情報を、ホームページや広報紙、FMゆうがおなどの広報媒体を通して積極的に発信する。



ワクチン接種シミュレーション



清明会
大島 昌弘 議員

脱炭素社会の実現を
目指すための環境対策について

市長 家庭のエネルギーの有効活用を図るため、蓄電池等の設置費補助事業の導入について検討する

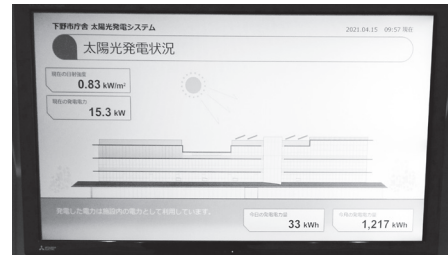
Q 下野市環境基本計画は、2013年度から2022年度までの10年間を設定しているが、次期計画策定の検討状況は。

A 市長 2023年度からの第2次計画の策定に向け、社会情勢や環境情勢の変化に対応するため、国や県の動向、近隣市町の取組を調査研究する。第2次計画では、第1次計画の取組を継承しながら、SDGsの考え方を盛り込む。また、一人ひとりの環境意識の向上を図り、ほんの少しの心がけによって達成できることを分かりやすくまとめていきたい。

Q 家庭、事業所、庁舎内における創エネルギー、蓄エネルギー等、低炭素化推進対策は。

A 市長 平成22年度から住宅用太陽光発電システム設置費補助事業を、令和2年度から電気自動

車等購入費補助事業を導入している。市役所などの公共施設でのクールシェアスポットの設置、環境フェアの開催、環境家計簿事業の実施をしている。また、市内事業者に対してごみ減量化で低炭素化を促進する「エコショップ&エコオフィス認定制度」を実施。今後は国や近隣市町の取組を参考に、住宅用太陽光発電システムと連携した蓄電池などの設置費補助についても検討していく。



省エネシステムモニター(庁舎1階西口)

医療的ケア児への
地域生活支援事業について、
サービス提供態勢の強化を求める

下野市民派クラブ
村尾光子 議員



市長 医療的ケア児への支援はコーディネーターを配置し日中一時支援事業は先進地を参考に研究する

Q 障害福祉サービス等報酬は、本年4月から全体で0.56%の引上げが予定されている。給付費については国の基準通りに運用されるが、任意事業は市独自に基準額や利用料を決めている。日中一時支援事業基準額の算出根拠は何か。

A 市長 日中一時支援事業は令和3年1月現在、

| 《障害児への福祉サービス》 | |
|--|---|
| 障害者総合支援法の事業 | 児童福祉法に基づく給付 |
| <p>●市地域生活支援事業【必須事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 理解促進研修・啓発 自発的活動支援 相談支援 ・ 移動支援 意思疎通支援 日常生活用具給付等 手話奉仕員養成研修 地域活動支援センター <p>【任意事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日中一時支援 生活サポート 訪問入浴サービス 身障者用自動車改造費給付 等 | <p>●障害児相談支援</p> <p>●障害児通所支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援 医療型児童発達支援 放課後等デイサービス 居宅訪問型児童発達支援 保育所等訪問支援 (市町村実施) <p>●障害児入所支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉型障害児入所施設 医療型障害児入所施設 <p>(都道府県実施)</p> |

市内外の27事業所と委託契約している。基準額は県南地区障害保健福祉圏内の小山市、壬生町、上三川町と同額としている。

Q 今回の報酬改定は、医療的ケア児への支援強化のためでもあるので、日中一時支援事業の基準額にも支援態勢強化が講じられるべきではないか。また、実施要綱の障害の区分に重度心身障害児(者)、医療的ケア児(者)枠を創設し、基準額を実際の経費に近づけて設定できないか。

A 市長 第6期市障がい者福祉計画では、医療的ケア児等支援のためコーディネーターを配置するとしている。また、令和元年度の市内在住医療的ケア児と保護者の実態調査で、要望があった災害時の医療機器予備動力としての蓄電池・発電機の購入費については、令和3年度から日常生活用具給付等事業の補助対象とする。現在の日中一時支援事業の職員等配置基準では、医療的ケア児への十分な支援は難しい。配置基準や基準額内容等については、先進事例等を参考に研究する。



中村 節子 議員



公園などの健康遊具を市民の健康づくりのために、もっと活用できないか

市長

8か所、36基の健康遊具の場所、使い方などを広報やホームページで周知していく

Q コロナ禍で、運動不足や人と会わないことで心身に不調をきたしている市民がいると思う。メタボ、フレイルなども心配される。公園などの健康遊具を使って簡単な体操教室などを開き、健康づくり、仲間づくりに役立てられないか。

A 市長 換気が不要、人との距離もとれるため、健康遊具を使うことはコロナ禍で有効だ。体操教室開催については、指導員の確保などがあるので、今後検討していく。

Q 県では「人生100年フレイル予防プロジェクト」を立ち上げた。市の取組を伺う。

A 健康福祉部長 職員など4名がフレイル予防の研修を受けた。ラジオ体操を推進し、地域ふれあいサロンでも力をいれている。若いうちから認識を深めることが重要。今後働きかけていく。

「フレイル」 加齢により、運動機能、認知機能が低下した状態。介護が必要になる前段階。

小中学校の情報教育アドバイザーの増員を

Q タブレット端末を各自が持ち、授業で活用するGIGAスクール構想。授業のサポートなどを行うアドバイザーは市内15校に1人で、国の目標（4校に1人）には遠い。教師が研修し、各種サポートを行うと聞くと聞くと、負担が重いのでは。アドバイザーを増やせないか。

A 教育長 教員がICT活用能力を高め指導に生かす。アドバイザーは1名のままで、ボランティアの活用も考える。



公園の健康遊具

伊藤 陽一 議員



コロナ禍におけるコミュニケーションの機会減少による孤立について

市長

民生委員・児童委員の皆様が今後も感染症への拡大防止の配慮をしつつ活動を進める



Q 市民は、新型コロナウイルス感染予防対策として、行動を自粛している。しかし、高齢者、障がい者、ひとり親世帯に多いコミュニケーションの機会が減少している方にとっては、行動の自粛が引きこもりの増長につながるおそれがある。最も重要な要素は、その人達が孤独、孤立を自覚しているか否かである。これを踏まえて民生委員・児童委員の現在の活動状況を伺う。

A 市長 身近な相談相手である民生委員・児童委員による活動は、コロナ禍においてもその重要性は変わらない。コロナ禍での希薄化、孤立化などが懸念される中、住民の立場に立って活動

を行う民生委員・児童委員の皆様が今後も新型コロナウイルス感染症拡大防止のための配慮をしつつ活動を進めることができるよう、市としても支援する。

Q 情報の格差をなくすには、広報とは別に違うツールが必要である。大半の方がコミュニケーションツールとして使っているのは音声、すなわち会話が一番基本だと思っている。この会話というツールを最大限に活用できないか伺う。

A 健康福祉部長 電話を利用した交流活動をリーフレットで紹介して、サロンにて配付したところである。





磯 辺 香 代 議員

ワクチン接種により 重いアレルギー反応が起きた場合 に備え、どう準備されているか

市 長 経過観察の場に医療職を配置し、救急処置用品を備える。
重篤な副反応には医師が当たる

Q 「持病があるのでかかりつけ医で受けてい」との声を聞く。かかりつけ医で接種できるのか。

A 市長 本人の希望によりかかりつけ医で接種できる体制を考えている。

Q 基礎疾患のある方の把握はどうするのか。

A 市長 国の統計値からすると、本市の対象者は2,163人になるが、市による事前把握は困難であるため、予診票の質問事項で確認する。接種券が配布されたら自己申告により早めに予約していただきたい。

Q どんなワクチンであっても100%安全なものはない。接種後30分程度の経過観察が設定されると聞くが、どのような人的・物的体制がとられるのか。

A 市長 看護師等の医療職を配置し、応急処置のためのスペースと血圧計、静脈路確保用品、輸液、

アドレナリン製剤、抗ヒスタミン剤、抗けいれん剤、副腎皮質ステロイド剤等の救急処置用品を備える。医師による応急措置を行い、必要に応じて医療機関に搬送する。

Q アナフィラキシーを含む重いアレルギー症状には、迅速で適切な対応が必要。市民の安心感を得るために、そこに意を用いていただきたい。

A 市長 1会場に2人の医師がいるが、そのうち1人を責任者とし、対応マニュアルを張り出すなどして、市民の不安の解消に努めたい。



ワクチン接種シミュレーション

ワクチン接種は、 本人の自由意思を尊重し、 非接種者に対する差別をしないよう求める

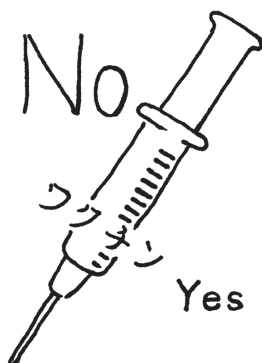
市 長 ワクチン接種を推奨するが、最終的な判断は、
市民一人ひとりの意思を尊重したい

石 川 信 夫 議員



Q 私は、ワクチン接種は副反応や後遺症が心配であり、接種には一定の疑念を抱いている。北里大学特別栄誉教授ノーベル賞受賞、大村智氏が昨年12月雑誌「致知」の中で、新型コロナウイルスは顔つきが次々に変わるので、ワクチンができて使えなくなる可能性があることや、遺伝子の配列の4カ所が

エイズウイルスと同じだということ、また、実際ワクチンはそう簡単にはできないこと等を指摘している。また、ウイルス学者の本間真二郎氏は、ファイザーやモデルナのmRNAワクチンは遺伝子ワク



チンと言われ、ゲノム編集で1日で作れることや、これまでに実用化された例がなく、どんな副反応が出るのかは未知の部分が多く、人間の遺伝子に悪影響を及ぼす可能性すらあると指摘する。以上の理由により、接種には慎重であって頂きたい。また、接種に際し、個人の自由意思を最大限、尊重して頂きたい。

A 市長 国の手引きに「予診の際に予防接種の有効性、安全性、予防接種後の通常起こり得る副反応、予防接種健康被害救済制度について、接種対象者またはその保護者がその内容を理解し得るような適切な説明を行い、文書により同意を得た場合に限り接種を行うものとする」と記載がある。よって、本人の同意を得た場合に限り接種を行う。市民の意思は尊重する。



五戸 豊弘 議員

接種会場へ行けない方への対応は

市長 訪問診療や往診での接種を検討している

Q 65歳以上の高齢者、基礎疾患がある方へのPCR検査、抗原検査を行った人数を伺う。

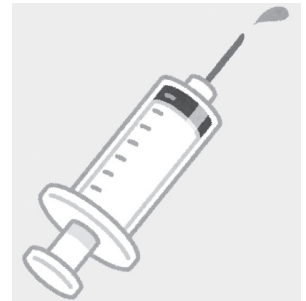
A 市長 2月末現在で、PCR検査が20件、抗原定量検査が10件の合計30件となっている。感染の可能性があると心配している場合や、施設に入所する際に陰性であることを確認したい場合など、様々な理由により利用いただいている。

Q 足の悪い方や寝たきり状態の方へのワクチン接種は、どのように行うのか。

A 市長 本人がかかりつけ医を持つ場合はかかりつけ医で、訪問診療等を受けている方の場合、訪問診療時に接種することを考えている。かかりつけ医がない場合は、医師会と協議し往診での接種等について検討していく。

Q ワクチン接種は、市に住民登録されている方となっているが、住所変更していない大学生、短期労働者への接種の考えがないか伺う。

A 市長 遠隔地へ下宿している学生や単身赴任の方などについては、ワクチン割当て等の観点から、接種を希望する市町村に申請することにより住民票所在地以外において接種を受けることができるとされている。



天平の丘公園に 花見に訪れる方々への感染予防対策は

副市長 観光協会と連携し、公園内に本部を設置し、来園者に感染予防の啓発活動をしていく

Q 天平の花まつりは新型コロナウイルスの影響で2年続けて中止となったが、公園内の淡墨桜やその他の桜は3月末には満開に、八重桜も4月中旬頃から咲き誇り、たくさんの方々が市内外から花見に訪れると思うが、公園内の感染予防対策はどう考えているか。



天平の丘公園(花広場)

貝木 幸男 議員

A 副市長 観光協会との連携により公園内に本部を設置し、シートを使用しての長時間の滞在や団体などの入場制限、マスクの着用など園内放送や園内案内看板の設置などによる啓発を行う。また、警備員の配置、本部前にサーマルカメラを設置し、発熱の検知も実施していく。常設店として営業している古民家カフェを利用される来園者へも消毒の徹底や感染防止対策の啓発活動を実施していく。

産業振興部長 花広場(野外ステージ前)は、去年は立入禁止の規制線を張り立ち入りさせないようにしたが、今年はその状況を見ながら危険であると判断した場合は、去年のような対策(立入禁止)もしていきたい。



相澤康男 議員

「人・農地プラン」 農地の集積・集約について伺う

市長 農地の散在化は、作業効率の視点においても生産性向上につながらないため集約化を支援する

Q 農業経営者のうち10年後の65歳以上の割合はどうか。10年後に向けた取組を伺う。

A 市長 農業経営者の10年後の65歳以上の割合は、75%を占めると推計結果が出ている。農業関係機関がコーディネート役を担い、高齢化、後継者不足への取組を強化していく。

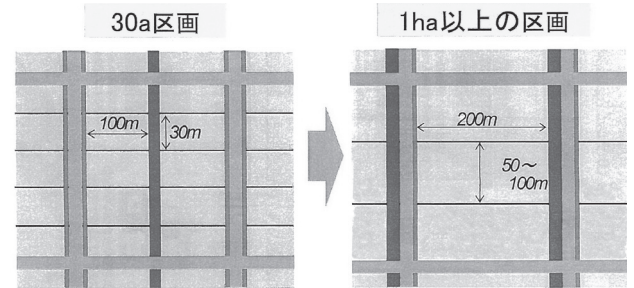
Q 農地集積を推進するにあたり、土地利用型の経営の法人化推進に向けた対策を伺う。

A 市長 現在市内で16法人が農業経営をしている。法人化することにより経営資源の分散化を抑制し、従業員の中から後継者選定や、経営、技術を次世代に残すことができ、後継者不足対策の観点において法人化は有効な手法である。本市の農業者に適した農業経営の法人化の推進を図る。

Q 新規就農者のうち、非農家出身の割合と今後の非農家の就農対策を伺う。

A 市長 平成26年から令和2年までの新規就農者は67名で、非農家出身は12名である。

産業振興部長 新規就農者の募集に対しJA関係、認定農業者の方々を通してやってきたが、今後、広報の在り方を研究していく。



農地集積のイメージ

小中一貫教育の推進を 下野市の教育スタンダードとして、 どのように実施していくのか

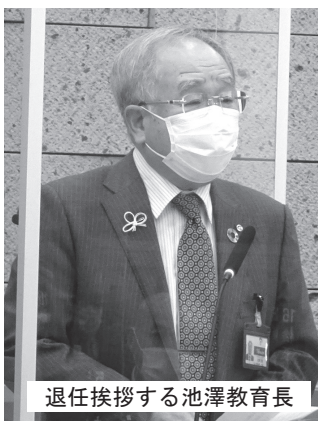
教育長 全国トップレベルの学力を目指して、子どもたちの未来を見据えて全教職員で取り組んでいく

坂村哲也 議員



Q 池澤教育長のこれまでの教育施策の成果を伺う。

A 教育長 2期7年にわたり、下野市の教育行政に関わらせていただいた。総合教育会議で示された教育政策の方向性の中で、教育環境の充実を図るため、学校適正化計画に基づく市内小・



退任挨拶する池澤教育長

中学校の適正配置に取り組み、各中学校の大規模改修や本市で初めての義務教育学校となる南河内小中学校の建設、小中一貫教育を進める上で欠かせない学校運営協議会制度の導入を進めた。

また、GIGAスクール構想により、ICT機器を活用した教育として、児童・生徒1人1台のタブレットを導入し、学びの環境を整えることができた。生涯学習や文化財の保存活用、スポーツ振興の分野においても市長と緊密に連携しながら多くの事業に取り組んできた。

Q 小中一貫教育の推進を本市の全ての中学校区で実施するための課題や方策は何か。

A 教育長 子どもたちには、義務教育9年間の学びをしっかりと身に付けて社会に羽ばたいてほしい。引き続き、全国トップレベルの学力を目指し、全教職員、全校長が小中一貫教育の目的を確認し、子ども達の未来を見据えて取り組んでいきたい。

令和3年 第1回
臨時会
2月3日(水)

令和3年第1回臨時会が、2月3日に開催されました。
市長提案により、補正予算1件が提出され、議案の
説明に対する質疑の後、採決しました。

一般会計補正予算
(第7号)

新型コロナウイルスワクチン接種の予算を議決

新型コロナウイルス感染症に係る2つの事業について審議しました。①ワクチン接種事業、②商工業振興事業(県の要請に応じた営業時間短縮協力事業者に支給する協力金)。①②の財源については、国からの補助金・負担金・財政調整基金から繰り入れし、歳入歳出それぞれ3億7,696万3,000円を追加し、予算総額を351億2,832万2,000円としました。

総括質疑

市長から提案された議案について、疑問点を問います。

新型コロナウイルスワクチン接種事業(2年度一般会計補正予算(第7号))

Q ワクチン接種事業について委託医療機関、
集団接種会場、準備・交渉状況を伺う。

A 医師会と協議している。集団接種会場は、
きらら館、国分寺公民館、南河内公民館を予定している。冷凍庫は市庁舎に2台、2次医療機関として小金井中央病院、石橋総合病院に各1台の計4台を設置予定。また、自治医大附属病院については県からの配分になる。

Q ワクチン接種の場所と期間について、集団
接種以外で開業医(かかりつけ医)での接種に
ついての考えを伺う。

A ワクチン接種場所は、集団接種と個別接種
(かかりつけ医)で割合を半々に設定している。
また、同時並行出来る体制づくりをする事で
接種期間の短縮にもなると考えている。

第1回臨時会の審議結果

議案などに対する各議員の賛否の状況です。

| 議案等 番号 | 付議事件 | 結果 | 坂村 哲也 | 伊藤 陽一 | 五戸 豊弘 | 貝木 幸男 | 石川 信夫 | 相澤 康男 | 奥田 勉 | 中村 節子 | 大島 昌弘 | 高橋 芳市 | 石田 陽一 | 小谷野 晴夫 | 秋山 幸男 | 磯辺 香代 | 松本 賢一 | 岡本 鉄男 | 村尾 光子 |
|-----------|-----------------------|----|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 議案1号 | 令和2年度下野市一般会計補正予算(第7号) | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ |

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 (議長は表決に加わらない)

議 会 の 動 き

2月

- 3日 第1回臨時会
- 8日 議員全員協議会
- 9日 教育福祉常任委員会
- 12日 総務常任委員会・経済建設常任委員会
- 17日 議会運営委員会・議員全員協議会
- 18日 議会だより編集委員会
- 19日 タブレット操作研修会
- 22日 FMゆうがお「こんにちは！下野市議会です」
(出演者：経済建設常任委員会)

24～3月18日 第1回定例会

26日 議会運営委員会

3月

- 4～5日 経済建設常任委員会
- 8～9日 総務常任委員会
- 10～11日 教育福祉常任委員会
- 12日 小山広域保健衛生組合議会 定例会

- 16日 議会運営委員会・議員全員協議会
- 18日 議員研修会(地方議員研究会セミナー「立地適正化計画と公共施設等総合管理計画」)
議会だより編集委員会
- 23日 石橋地区消防組合議会 定例会
- 24日 議員研修会(地方創生カレッジオンラインセミナー)
- 29日 FMゆうがお「こんにちは！下野市議会です」
(出演者：教育福祉常任委員会)
- 30日 議会だよりモニター会議

4月

- 6日 議会だより編集委員会
- 12日 議会運営委員会
- 16日 議会だより編集委員会
- 23日 議会だより編集委員会
- 26日 FMゆうがお「こんにちは！下野市議会です」
(出演者：議会だより編集委員会)

第1回臨時会



議会だよりモニター会議を開催しました

9名のモニターをしていただいた皆様、2年間ありがとうございました。その中の3名にご出席いただき、3月30日午後3時から約1時間半、議会だよりについて様々なご意見を頂戴いたしました。

はじめに、「前号より表紙や一般質問の見出しが変わりとても見やすくなった」とお褒めの言葉をいただきました。他には「二世帯住宅などには2部だけじゃないか」、「クイズなどの懸賞コーナーを作り、市のグッズを差し上げてはどうか」、「月に1度のFMゆうがおへの出演は土日などを検討してみてもは」等々たくさんのご意見を伺いました。



会議に参加した議長、副議長をはじめ編集委員6名もご意見を参考にして、今後の議会だよりに反映していきたいと思えます。これからも読者の方々の声をお聞かせ願えればと思えます。心待ちにさせていただけるような議会だよりを目指していきますのでよろしくお願いたします。

(貝木 幸男)

**モニターの皆様
2年間ありがとうございました**

第2回 定例会 (6月議会) の予定

※会議の予定は変更になることがあります。

※日程が決定次第、議会ホームページでお知らせいたします。

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|------|------|-------|-----|------|----|
| 30 | 31 | 6月1日 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | | | | 本会議 | | |
| | | | | 開会 | 一般質問 | |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | 本会議 | | 常任委員会 | | | |
| | 一般質問 | | | | | |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| | | | | | 本会議 | |
| | | | | | 閉会 | |

編集後記

春の訪れとともに桜はきれいに咲き誇り、そしてきれいに散っていきます。今この原稿を書いている時は満開ですが、市民の皆様がこの編集後記を読まれる頃はもう桜も葉桜となっていることでしょうか。今号も中身は桜のように満開の内容でお届けしたつもりですが、ご覧になっていかがでしたでしょうか。誠実に真実をありのままにお届けしております。ご自身が、またご家族の方が住んでいる市の事案ですので興味を持って毎号見ていただければ私たち編集委員も嬉しく思います。さて、そろそろこの編集後記も散り際となりましたので、この辺で失礼させていただきます。

(貝木 幸男)

**発行 栃木県下野市議会
編集 議会だより編集委員会**

委員 長 中村 節子
副委員 長 坂村 哲也
委 員 伊藤 陽一
貝木 幸男
奥田 勉
磯辺 香代

※次号 (No61)は 8月15日に発行します

下野市社会福祉協議会ボランティアセンターにおいて、議会だよりの音訳CDを貸し出しています。電話0285(43)1236

下野市議会だより1部あたりの印刷製本費は約18.7円です。